

# くろだより



高橋真麻真骨頂

## 内服政権交代

### 新薬三つ巴 悪魔の戦い

# 花粉症治療やるうぜ

3月に入りインフルエンザは若干ピークを越えたが遂に花粉症の季節が本格的に到来。街にはマスク女性が増えていく。インフルエンザ予防か、風邪ひきさんなのか、花粉症対策か。いや、実はただのスピニング隠し。3月は高橋真麻を代表とするマスク美人が世間を賑わせる時期だが、実際に花粉症治療をしつかりと行っている人は少ない。成人の4割近い人が花粉症の症状多少はを抱いていると言われるが、

痒み物質ヒスタミンをダイレクトに中和しに行く攻めのヒスタグロピンは皮下に数回打って3000程度は結構効く。ウサギの耳から抽出したノイロトピン。痛み止めのお守りの存在として不思議認定されている薬剤が実は花粉症の鼻に効く。週1〜3回の皮下注射で6割の人が改

### 注射 禁断のお尻も

善。ヒスタグロピンと同時に打ちが。3週に1度腎部に注射するケナコルトは副作用もあり若い健康男性だけ。効果強いが学会は非推奨。喘息があれば適応もあり得るゾレアは9割の人に効果があり2〜4週効果がある。3割負担で7千円〜5万超えとVIP仕様だ。

実際の治療はせず漫然とマスクや市販薬で対応している事が多い。「薬は眠くなるし」「どうせ治らない」と思っている方も多い。2016年冬から新薬が3種類発売され、時代は遂にア

## デビル三連星現る

レグラから政権交代の時を迎えようとしている。今回のくろだよりは「俺の花粉症治療」として最新の薬や治療を取り上げた。自分は治療するべきか。今もっている薬は正しいのか。風のリーダーも戦々恐々としている内服薬戦争は売り上げの大野アレグラ、効果のザイザルに新薬、通称悪魔のデビル三連星(デザレックス・ピラノール・ルパフィン)が加わった。2018年を制覇するのは一体どれか、目が離せない。

かつてアレルギー薬は眠気が少なく運転しても良いが効果の弱いアレグラ、効果強めで運転出来ないザイザルやアレロックがお互いの地位を確立していた。2016年冬、デザレックスとピラノールが登場。ピラノールは空腹時を避けてはいいけないが、効果も強くアレグラ以上。わずか1時間で効果が出る。眠気も7%の人しか出ず運転可能。小平奈緒のような切れ味を持つデザレックスは満腹で飲んで良く、長時間続いて眠気も1%で運転も良い。高木美帆のようなマイルドなタイプ

## 俺の治療方針

食事の時間が規則的な人にはピラノール、他の人はデザレックス。鼻閉の人にはデイレグラもいいが250円〜1白の服用と高くて不便なのでシングレアか点鼻アフラミスト併用。中等度

以上の真面目な人には舌下療法開始を提案。忙しくて

トロピン。喘息があり、しっかり納税している人に限り高級薬のゾレアの皮下注射を検討。目薬持たしアレルギー薬を中心に適当に処方。インタール、IPDは処方しない。良い空気清浄機を設置、漢方薬や生活習慣改善を指導。でも実は今の病院にゾレールは採用無く俺の治療方針不可というオチ。

既にアレグラ陣営は鼻づまり成分を加えたデイレグラを投入しており何とか鼻閉群を取り込みたいと気を吐いている。運転OKは他にクフリチン。運転注意はアレジオン、エバステル、タリオン。その他は運転禁止だ。

他の種類の内服は効果が弱く予防的に長期使うインタール・リザベン(遊離抑制薬)、副作用も効果も弱いIPD(サイトカイン阻害薬)、鼻閉に強いオン・キプレス・シングレア(抗ロイコトリエン薬)があるが、時代は目下デビル三連星に注目している状態だ。

## てんび三兄弟

内服に加えて使いやすいのが点鼻薬。アラミスト・エリサス・ナゾネックスの

### スギ花粉 食べませんか

花粉エキスを少しずつ体内に取り込み慣れさせる免疫療法。皮下注射から時代は舌下内服治療へシフトしている。数年やれば止めても5〜8年程度効果は続き、完治も2割はいる。中等度以上の人でコッコソ頑張れる人はミンティア代わりに1つお口にいかが?

### 憎き粘膜炎を 焼き尽くせ

戦場は鼻だ。戦場を無くせば症状も無くなる。焼け、鼻を焼き尽くせ!というスダンスからレーザーで鼻の粘膜炎を焼き尽くす治療。痛みも無く、効果は数ヶ月。嗅覚にも全く影響ないため意外とお薦め。

### 編集後記

救急医療とは無縁の花粉症を特集しました。高校時代痒くて皮膚科で処方してもらった薬が超眠くなるタイプ。授業全部寝て全県統一模試も爆睡。偏差値30台を取ったことがあります。クソ救急者!と今は思えるいい思い出ですが、その眠気を活かして睡眠薬として処方することがある私です。